

ふう けい き こう
風景紀行
小秀山と加子母
 45
 東濃署森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

小秀山と加子母

「東濃署」加子母は、中津川市の最北部に位置しており九十四郡が山林で覆われた林業が盛んな地域です。その北端には当署が管轄する加子母本谷国有林があります。

ここには飛驒川の支流「白川」の源流があることから、水源かん養保安林、県立自然公園にも指定され、その豊富で綺麗な水は、地元や下流域の住民からも注目されています。

北は下呂市、東は長野県王滝村と接していますが、その長野県との県境に小秀山があります。

小秀山は、御嶽山の南方に位置する阿寺山系の最高峰であり、日本二百名山の一つにも数えられています。

標高は、一、九八二メートル、麓の登山口には乙女溪谷キャンプ場があり、そこから山頂までは四〜五時間の行程です。

春は、アカヤシオやオオヤマレンゲ、

夏にかけてはタマアジサイなどの花が咲き、登山道では夫婦滝など大小様々な滝や、兜岩などの巨石を間近に見ることが出来ます。

特に山頂からの景色は素晴らしく、晴れた日には中央アルプスや白山まで見渡せます。また御嶽山を一番美しく眺められるポイントとしても知られており、その眺望を求めて、年間約五千人を超える登山者が訪れています。

他にも加子母には、多くの見どころがあります。

この東濃地方は、全国でも珍しい「地芝居」の盛んな地域で、かつては六十棟以上の農村舞台がありました。

「明治座」もその芝居小屋の一つで、明治二十七年に村の有志たちによって建てられました。

小屋といっても回り舞台や両花道を備えた劇場形式の立派な建物で、梁には樹齢四百年、長さが十四メートルもある巨木が使用されるなど、随所に当時の熱意が感じられます。

現在は、県の重要有形民俗文化財に指定されており、明治座活用委員会により年間を通じて開館され、秋には地元の加子母歌舞伎保存会により、地歌舞伎が公演されるなど、大切に守られています。

まだまだ見どころは沢山あります。

美しい山の景色と歴史・文化が息づく加子母を訪れてみてはいかがでしょうか。か。

◇アクセス方法

『小秀山登山口』

中津川ICから国道二五七号線を下呂方面へ車で約五十分。

乙女溪谷キャンプ場へ（案内看板あり）

『明治座』

中津川ICから国道二五七号線を下呂方面へ車で約四十五分。
 (案内看板あり)



小秀山から望む冠雪の御嶽山



明治座



兜岩からの眺望を楽しむ登山者